

発表者の COI 申告書

様式 1

発表者名(共同演者を含む): _____

発表題名: _____

発表者全員について、抄録登録時から遡って過去 3 年間を対象に、発表内容に関する企業・組織または団体との COI 状態を項目ごとに記載する

項目	該当の状況	有の場合、企業名などの記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職などの有無と報酬額 (1 つの企業・団体から年間 100 万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
② 株の保有と、その株式から得られる利益 (1 つの企業の 1 年間の利益が 100 万円以上、あるいは当該株式の 5% 以上保有のものを記載)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
③ 企業や営利を目的とした団体から特許使用料として支払われた報酬 (1 つにつき年間 100 万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
④ 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表)に対し、研究を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料など (1 つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
⑤ 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料 (1 つの企業・団体から年間合計 50 万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費(治験、受託研究、共同研究)、助成金など (1 つの企業・団体から支払われた総額が年間 500 万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学(奨励)寄付金などの有無 (1 つの企業・団体から支払われた総額が年間 100 万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
⑧ 企業や営利を目的とした団体が提供する寄付講座 (企業などからの寄付講座に所属している場合に記載)	(本人) 有・無	
⑨ 研究とは無関係な旅行、贈答品など (1 つの企業・団体から年間 5 万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	

①~③の親族とは、申告者の配偶者、一親等の親族、生計を共にする者をいう。⑥、⑦については、研究成果の発表に関して、発表者個人か、発表者が所属する部局(講座、分野)や研究室などへ、開示すべき COI 関係にある企業や団体などからの研究経費、奨学寄付金などの提供があった場合に申告する必要がある。

(本 COI 申告書は発表後 2 年間保管されます)

申告日 年 月 日

代表:筆頭発表者(署名) _____